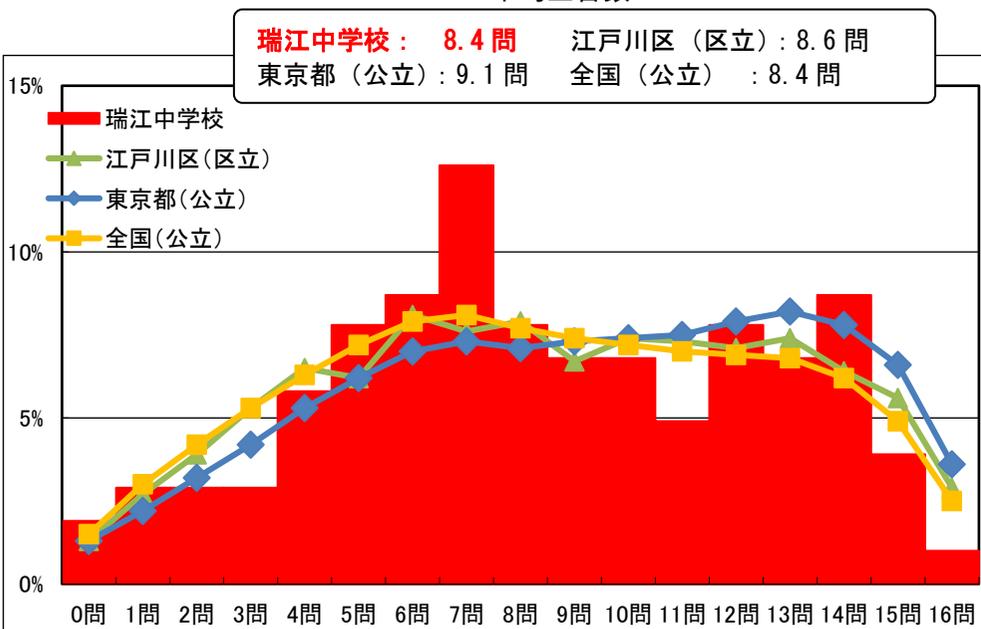


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 瑞江中学校

正答数分布

平均正答数

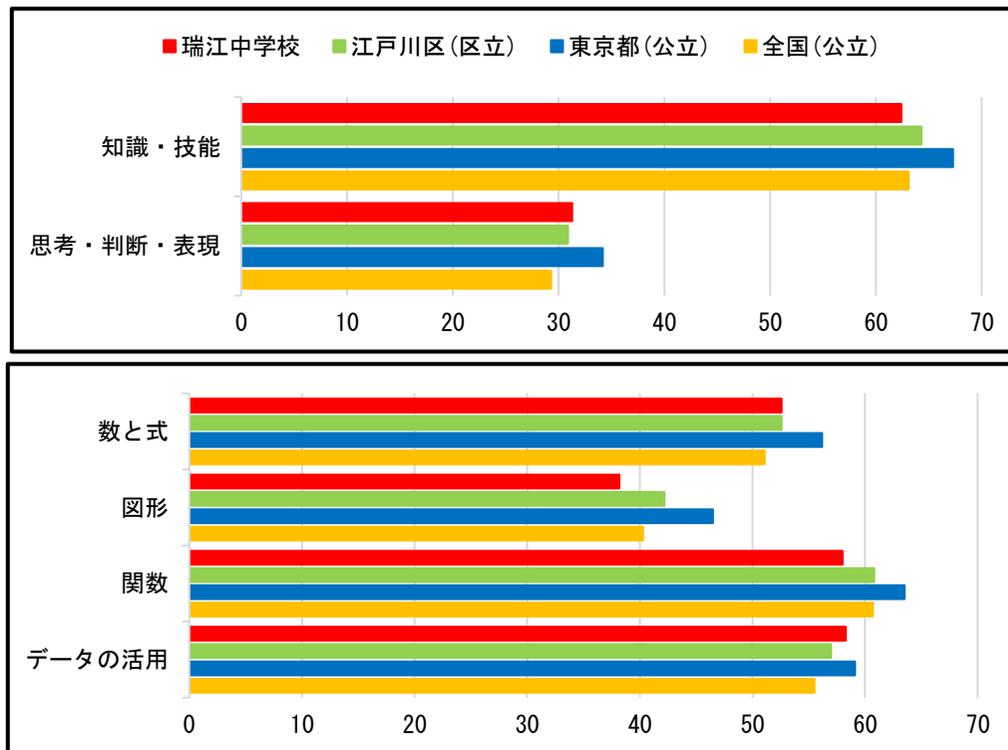


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16 問	B層 9~12 問	C層 6~8 問	D層 0~5 問
瑞江中学校	20.4	26.2	29.1	24.3
江戸川区 (区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都 (公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国 (公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

瑞江中学校	53%
江戸川区 (区立)	54%
東京都 (公立)	57%
全国 (公立)	52.5%
都との差	-4ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

例年より正答率が上がった。中でも、D層の割合を11%減らすことができた。A・B層も6%ずつ増加した。これは放課後補習教室の活用や江戸川区の数学単元別検定に取り組んだことが要因として考えられる。そして、家庭学習の習慣化や数学が苦手な生徒に対してフォローできた。よって、例年よりも数学への学習意欲を高めることにつながった。これを継続しつつ、さらに各単元と学力調査の問題を関連させて指導することで、都の平均正答率以上を目指す。